

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

チャイコフスキー

Tchaikovsky

歌劇「エフゲニー・オネーギン」から“ポロネーズ”
"Eugene Onegin" Polonaise

ロココ風の主題による変奏曲

イ長調 作品33

Variations on a Rococo Theme, in A major, op. 33

交響曲 第5番 ホ短調 作品64

Symphony No. 5 in E minor, op. 64

小林研一郎

炎のチャイコフスキー

入魂のタクトと熱い音楽作りで聴衆を魅了!
“コバケン”の愛称で人気のマエストロ

指揮= **小林 研一郎**

Conductor: Ken-ichiro Kobayashi

コンサートマスター= **長原 幸太**

Concertmaster: Kota Nagahara

ロストロポーヴィチ国際コンクール優勝
小澤征爾に絶賛され注目を集める俊英

チェロ= **宮田 大**

Cello: Dai Miyata

読売日本交響楽団 第581回 サントリーホール名曲シリーズ
The 581st Suntory Hall Popular Series

4月15日(水)19時開演 **サントリーホール**

Wednesday, 15 April 19:00 / Suntory Hall

S ¥7,200 A ¥6,100 B ¥5,100 C ¥3,600

読売日本交響楽団 第15回 読響メトロポリタンシリーズ
The 15th Yomikyo Metropolitan Series

4月16日(木)19時開演 **東京芸術劇場コンサートホール**

Thursday, 16 April 19:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

S ¥7,200 A ¥5,100 B ¥4,100 C ¥3,600

お申し込み・お問い合わせ:

読響チケットセンター **0570-00-4390** (10時~18時・年中無休)

<http://yomikyo.or.jp/> プレイガイド: チケットぴあ ほか

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
事業提携: 東京芸術劇場(4/16)

“炎のマエストロ”が描く、チャイコフスキーの世界

オヤマダアツシ (音楽ライター)

日本のクラシック音楽界に「定番」という名の殿堂があるのなら、小林研一郎の指揮によるチャイコフスキーは威風堂々とした姿で輝いているだろう。陰鬱な「運命のモティーフ」から始まり、栄光の頂点でフィナーレを迎える交響曲第5番を雄大な大河作品としてとらえるマエストロの指揮。そこに生まれる多彩な感情を大胆に、そして丹念に描き出していくアプローチは、鬼気迫るような指揮ぶりと相まって、客席に座る私たちが容赦なく忘我の世界へと引きずり込むのだ。

48歳のチャイコフスキーが古典的な造形美を守りつつ、避けがたい「運命、絶望」への抵抗を描いたとされる交響曲第5番は、彼の人生において充実した時期の産物だと言えるだろう。しかし、その裏側にある繊細かつはかなげな感情も避けられないエッセンス。マエストロの“炎”と揺るぎない読響サウンドは、チャイコフスキーのスコアから多様な感

情を引き出し、トルストイばりの情緒豊かなドラマとして聴かせてくれるに違いない。コンサート冒頭に演奏されるゴージャスな「ポロネーズ」は、まるで輝きに満ちた殿堂の扉を開くような時間だ。

さらには、チャイコフスキー特有の愛すべき旋律がふんだんに散りばめられた「ロココ風の主題による変奏曲」も、聴き手の心を和ませるだろう。繊細、可憐、優雅……さまざまな形容ができるその音楽を弾くのは、ますます人気・評価が高まっている宮田大。彼のチェロを聴いた人であるなら、なによりその幅広い表現力に驚いたことだろう。文字通り“語るように”弾かれるその音楽は、もしかするとチャイコフスキー自身でさえも気がつかなかった魅力を引き出してしまふのかもしれない。

定番の曲と演奏だからといって安心していると、思わぬ熱でやけどをするかもしれませんよ。



©読響

指揮= 小林 研一郎

Conductor: Ken-ichiro Kobayashi

“コバケン”の愛称で親しまれている世界的指揮者。熱く気持ちの込められた音楽で、聴衆から絶大な支持を得ている。2011年8月から、読響特別客演指揮者の任にある。東京藝術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞受賞。数多くの音楽祭出演のほか、欧州のオーケストラを多数指揮。2002年の「プラハの春」音楽祭では、東洋人で初めてオープニングコンサートの指揮者に招かれ、大統領臨席のもと「わが祖国」全曲をチェコ・フィルと演奏し、満員の聴衆からのスタンディング・オベーションで長く拍手を送られるなど絶賛を浴びた。これまで、ハンガリー国立響の音楽総監督やチェコ・フィル常任客演指揮者をはじめ、国内外の数々のオーケストラのポジションを歴任。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル、名古屋フィルの桂冠指揮者、九州交響楽団の首席客演指揮者、東京芸術大学、東京音楽大学、リスト音楽院名誉教授。



©読響

チェロ= 宮田 大

Cello: Dai Miyata

現在最も注目を集めている若手実力派チェリスト。2005年日本音楽コンクール第1位、09年ロストロポフ・ヴィチ国際コンクールで日本人として初優勝。桐朋学園音楽部門特待生、同大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業、ジュネーブ音楽院卒業、クロンベルク・アカデミー修了。出光音楽賞、ホテルオークラ音楽賞などを受賞。ザールブリュッケン・カイザーズラウテルン・ドイツ放送フィルなどに招かれるほか、室内楽ではクレメール、バシュメットら著名な演奏家とも共演。12年、小澤征爾指揮/水戸室内管にソリストとして出演し、この模様はテレビで放送され、大きな反響を呼んだ。昨年11月の尾高忠明指揮/読響とのエルガーでは、甘美なソロで絶賛を博した。 <http://daimiyata.com/>



©Yukio Kojima

★ 読響日本交響楽団 第581回 サントリーホール名曲シリーズ

2015年 **4月15日** (水) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,200 / A ¥6,100 / B ¥5,100 / C ¥3,600

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001 (オフィス)

■東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅 (3番出口) より徒歩約5分、東京メトロ銀座線「溜池山王」駅 (13番出口) より徒歩約7分

★ 読響日本交響楽団 第15回 読響メトロポリタン・シリーズ

2015年 **4月16日** (木) 19時開演

東京芸術劇場コンサートホール

S ¥7,200 / A ¥5,100 / B ¥4,100 / C ~~¥3,600~~ **SOLD OUT**

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111 (代表)

■JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (※駅地下通路2b出口と直結しています)

【注意事項】 東京芸術劇場には一時託児施設があります。お問い合わせ: 03-5391-2111 (東京芸術劇場・代表)

【学生券】 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【団体割引】 読響チケットセンターにて同一公演の10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

※10:00-18:00・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

※座席選択してチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く) ※郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットびあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (4/15公演分)、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (4/16公演分)